愛知身障

発行所
一般社団法人
愛知県身体障害者福祉団体連合会
愛知県障害者社会参加推進センター
名古屋市東区白壁一丁目50番地
愛知県白壁庁舎内
電話〈052〉228-8505
FAX〈052〉228-8506
E-mail FJP47313@nifty.com
発行人 加賀時男
定価1部30円

地域の福祉、みんなで参加
赤い羽根共同募金
10月1日▶12月31日

平成二十八年度決算 六月定時総会で承認

去る6月22日(木)、愛知県白壁庁舎において、定時総会を開催し、平成28年度決算案及び、事業報告案等が審議のうえ全会一致で承認されました。また当日は、愛知県健康福祉部障害福祉課の植羅課長をお招きし、次の挨拶をいただきました。

「平成29年度定時総会が、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

加賀会長を始め、愛身連の皆様におかれましては、点訳・朗読奉仕員の方々の養成や、障害者110番事業の実施など、日頃から本県の障害者福祉の推進に格別の御支援、御協力をいただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

また、昨年の12月に開催いたしました第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会の運営に多大なる御協力を賜りますとともに、平成26年度から開催しております障害者アート展あいちアール・ブリュット展の運営にも御支援をいただいており、重ねて感謝申し上げます。

さて、愛知県では、昨年の4月に『愛知県障害者差別解消推進条例』を全面施行いたしますとともに、10月には、手話に加え、障害のある方のコミュニケーション手段全般を対象とする『手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例』を施行いたしました。

これらの条例の目指すところは、全ての県民が、お互いの理解を深め、協力しながら共に生活できる社会を築いていくことであり、条例の理念を踏まえて、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

また、県では、現在、第4期の愛知県障害福祉計画に基づき、福祉施設に入所されている方の地域生活への移行や、福祉事業所の利用から一般就労への移行などを進めているところですが、今年度、第5期となる県の障害福祉計画を定めることとしております。

県といたしまして、障害のある方々に対する支援体制の整備を計画的に進め、障害の有無に関わらず安心して暮らし続けることのできる地域社会の実現に向け、今後もしっかりと取り組んでまいりますので、引き続き御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。」と述べられました。

そして議事は、議長として選出された平野支部長(刈谷市)が進行を務め、次の議案を審議し、すべて原案どおり可決されました。

第一号議案
△平成二十八年度事業報告▽
※ホームページに掲載中

第二号議案
△平成二十八年度一般会計収入支出決算▽
※ホームページに掲載中

第三号議案
△平成二十八年度障害者社会参加推進センター特別会計収入支出決算▽
※ホームページに掲載中

第四号議案
△平成二十八年度運用基金特別会計収入支出決算▽

第五号議案
△平成二十八年度職員退職引当金特別会計収入支出決算▽

第六号議案
△平成二十八年度第20回日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会特別会計収入支出決算▽

第七号議案
△役員の選任の決議▽(※)
任期満了に伴い、新しい理事及び監事が承認されました。
※総会後、理事会において会長・副会長・常務理事を選定し、承認されました。

【役員の選任】

会長	加賀時男(岡崎市)	
副会長	鷹羽純也(稲沢市)	
副会長	黒江幸子(東海市)	
副会長	原　哲士(北設楽郡)	
常務理事	永田耕一	
理事	黒田孝志(犬山市)	
理事	関戸八郎(岩倉市)	
理事	太田雅美(あま市)	
理事	近藤　二(豊明市)	
理事	金田紀代子（長久手市）	
理事	梅田幸重(豊田市)	
理事	都築文明(安城市)	
理事	大髙博嗣(豊川市)	
理事	神田元治(蒲郡市)	
理事	荒川修吉(新城市)	
監事	加藤清子(瀬戸市)	
監事	平野健司(刈谷市)	

平成28年度　一般会計収支決算

（単位　円）

収入	金額	支出	金額
会費	10,095,200	事務費	7,784,484
県補助金	1,560,000	会議費	373,250
助成金	1,514,400	事業費	4,399,653
寄付金	309,938	特別事業費	617,950
繰入金	0	負担金	329,624
諸収入金	271,308	諸支出金	0
前期繰越金	418,923	次期繰越金	664,808
計	14,169,769	計	14,169,769

平成28年度
社会参加推進センター会計収支決算

（単位　円）

収入	金額	支出	金額
委託金	15,194,000	事務費	9,503,026
諸収入金	26	会議費	75,000
		一般事業費	5,616,000
計	15,194,026	計	15,194,026

白壁庁舎にて
身体障害者相談員協議会
総会・学習会　開催

5月25日(木)、愛知県身体障害者相談員協議会総会が開催されました。

当日は、ご多忙の中、愛知県健康福祉部障害福祉課の立花主幹におこしいただき、「共生社会の実現に向け、県もしっかりと取り組んで参りますが、障害のある方に安心して地域生活を送っていただくためには、身近な相談支援が重要です。相談員の皆様には、当事者や家族の目線に立った相談支援や、自らの経験を踏まえた活動をお願いしており、その役割は今後一層期待されるところです。」と、ご挨拶をいただきました。

その後、次の議案を審議し、全て承認されました。

【第一号議案】
平成28年度事業報告
◆第17回相談員研修会
（当協議会主催）
平成29年2月5日(日)～6日(月)、「グリーンホテル三ヶ根」で開催し、延58名が出席。
◆第20回日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会
（日身連・愛身連主催）
10月11日(火)～12日(水)
愛知県豊橋市にある「ホテルシーパレスリゾート」で開催し、中部ブロック各県市から2日間で延216名が出席。内愛知県から延69名が出席。
◆身体障害者相談員研修会
（愛知県主催）
10月28日(金)、愛知県西三河総合庁舎で開催し、59名が出席。

【第二号議案】
平成28年度収支決算

【第三号議案】
平成29年度運営方針・事業計画
◇相談員学習会
（当協議会主催）
5月25日(木)総会後開催
◇第18回相談員研修会
（当協議会主催）
平成30年2月4日(日)～5日(月)
（南尾張地区開催）
◇第21回日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会
（石川県主催）
10月11日(水)～12日(木)
◇身体障害者相談員研修会
（愛知県主催）
11月6日(月)

【第四号議案】
平成29年度収支予算

総会後、1時間程度の「学習会」を開催しました。今年度は、総会に参加された相談員の方を6つのグループに分け「身近に感じる障害者差別について」をテーマに討議しました。さまざまな地区の相談員の方と話すことで、今まで気がつかなかったこと、また気がついたこと、学ぶことが多かったのではないかと思います。今回の学習会で学んだことが今後の相談活動に、少しでも役立つのではないかと期待します。

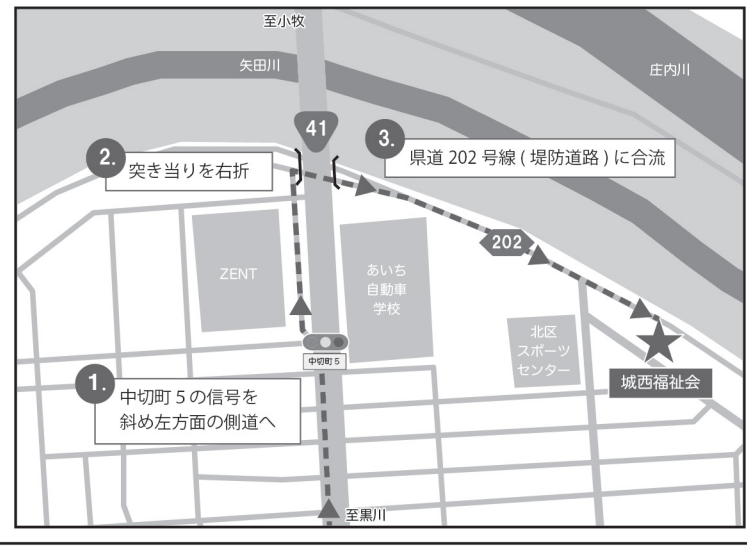
一般財団法人 **城西福祉会**

〒462-0021　名古屋市北区成願寺 2-6-19
TEL：052-912-3946　FAX：052-913-0130
HP：http://www.josai.or.jp/　Mail：info@josai.or.jp

自動車練習コース貸出
身体障害者手帳をお持ちの方は無料となります。
時間：9時～17時（最終受付16時）　定休日：毎週月曜日、夏期及び年末年始

第10回身体障害者安全運転競技大会
道路交通法の学科テストや運転技能コンテストを行い安全運転意識の向上を図ります。
優秀者には賞品を、また参加者全員に記念品をご用意しております。
日　　時：平成29年10月22日（日）10時～16時　　場　　所：城西福祉会
参加資格：愛知県在住の身体障害者手帳をお持ちの方　　募集定員：15名
申込期限：平成29年10月15日（日）　　参加費無料・昼食付き

アクセスマップ



日身連全国大会 ぎふ清流大会盛会に終わる

去る5月31日（水）岐阜メモリアルセンターで愛ドームにおいて、第62回日本身体障害者福祉大会ぎふ清流大会が開催され、全国各地から約2,500名の参加者が集まりました。

その内、愛知県からは同じ中部ブロック管内ということで、各支部から約170名を越す参加がありました。

大会の第一部式典では、障害者福祉の向上に永年寄与された方々の功績を称え、55名の方々が日身連会長表彰を授与されました。

愛知県からは小牧市身体障がい者福祉協会前会長の小川隆雄氏が受賞されました。

小川氏は、地元小牧市身障会の会長を16年、愛身連の副会長を2年務められ、その功績が称えられました。

第二部議事では議長として愛身連の加賀会長（日身連副会長）の進行のもと、大会宣言及び大会決議が採択されました。

【大会宣言】

障害に対する理解促進が一層求められるなか、ここ岐阜県において、全国から参加した多くの仲間とともに、第62回日本身体障害者福祉大会を盛大に開催することができた。

日本身体障害者団体連合会は、障害者権利条約のスローガンでもある「私たち抜きに私たちのことを決めないで」を掲げ、同条約が反映された国内法整備の実現をめざし、日身連加盟団体ならびに障害関係団体と強く連携し、活動に邁進してきた。こうした活動が実を結び、本年2月に閣議決定された「ユニバーサルデザイン2020行動計画」の作成にいたったと理解している。

私たちがめざす共生社会は、すべての人の人権と尊厳が守られ、自己選択、自己決定による自立した暮らしの実現と、障害に対する社会的障壁が取りのぞかれた社会である。そして、何よりも平時はもとより災害や非常時において、何ら不安なく生活が営める地域社会である。

日本のどこにおいても、障害を理由とする差別の禁止と合理的配慮の提供が、当たり前のこととして受け入れられ、定着させることが、喫緊の課題である。障害者差別解消法を全国に根づかせ成長させることを、私たち障害者団体の役割の一つと再確認し、明日の活動につなげていこうではないか。

日本身体障害者団体連合会に結集する私たち障害のある者は、障害者権利条約のもと、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」が障害者施策に実行されることを求め、全国の会員ならびに加盟団体と強く連携し、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言する。

【大会決議】

一、心のバリアフリーの推進を図ろう

一、障害の社会モデルの考え方を全国に広げよう

一、障害者差別を禁止する条例を全国に制定させよう

一、地域の相談支援体制に身体障害者相談員を活用させよう

一、会員減少に歯止めをかけ、組織の活性化を図ろう

【スローガン】

○ユニバーサルデザイン2020行動計画の完全実施を求めよう

○災害時の障害者支援体制を確立させよう

来年は、平成30年6月14日（木）、群馬県の高崎アリーナで開催予定です。

愛知県身体障害者福祉大会 12月、日進市で開催！

第57回愛知県身体障害者福祉大会を12月3日（日）に日進市にある日進市民会館で開催します。

福祉大会では、愛知県知事、愛知県社会福祉協議会長、愛知県身体障害者福祉団体連合会会長から、身体障害を克服して自立更生されている方、人目につかない分野等で身体障害者の更生援護に尽くされた方に、その功績を称え表彰を行います。

また、第二部では、障害者自らが直面する諸問題の解決に向けた協議を行います。

ここで、決議された協議題については、大会終了後、関係機関に陳情を行います。

大会開始は午前10時、受付は午前9時15分から。多数のご参加をお待ちしております。

日本昭和村（岐阜県）でハイキング大会を開催！

7月7日（金）と17日（月・祝）の2回、岐阜県美濃加茂市にあります「日本昭和村」でハイキング大会を開催しました。

7日は東三河地区の方を対象に、17日は尾張地区、西三河地区の方を対象に行いました。両日とも、とても暑い中でのハイキングとなりました。

参加者の皆さんは懐かしい昭和の町並みを歩き、花を見たり、里山ふれあい牧場まで足を延ばしたりして園内を各自のペースで散策されていました。

また今回は、参加者全員で「墨流し染め体験」（7日参加者）と「アロマキャンドル作り体験」（17日参加者）を行いました。

墨流し染め体験では、水の中に染料を浮かし、そっと混ぜて模様を作り、大きなハンカチですくい上げると、素敵な染物が出来上がりました。

アロマキャンドル作り体験では、キューブ型のロウを使って香りつきのキャンドルを作りました。最後にハート型や星型などのキャンドルをのせて出来上がりました。

どちらの体験も参加者の方の個性が出ている素敵な作品が出来上がっていました。作品については、ハイキング大会終了後、記念としてお渡しました。

今回のハイキング大会にも各地区から多くの方に参加していただきました。ありがとうございました。

また最後になりますが、参加者のサポートをしてくださったスポーツ指導員の方（2名）と要約筆記者の方（2名）へお礼申し上げます。ありがとうございました。

Ⅱ力作167点Ⅱ 第51回愛知県身体障害者作品展開催

8月19日（土）～20日（日）、一宮市にある「尾西生涯学習センター大ホール」で、第51回愛知県身体障害者作品展を開催しました。

午前10時からの開会式には、中野一宮市長、末松一宮市議会議長、河村一宮市社会福祉協議会長にご出席していただき、祝辞の後、テープカットを行っていただきました。

書道、絵画、写真、手芸、工芸、陶芸、その他の部門の他に「一宮っ子の会」、「ののはな太鼓」の方にも出展をしてもらい、167点余りの素晴らしい作品を展示しました。

書道では、魂のこもった迫力のある字が並び、絵画は美術館で作品を見ているかのように見入ってしまう作品が飾られました。

写真では、絵葉書のように幻想的なものから、撮影した場所にいるかのように感じるものまで、作者のそれぞれの思いを感じることができる作品が並びました。

作品展の中で一番多く出品していただいた手芸や工芸の作品は、細かな作業や手先を多く使うもの、また、陶芸・その他では、集中して制作したのだろうと感じる作品が並びました。

それぞれ持っている障害は違っても、一生懸命作品を制作した気持ちが伝わった作品展となりました。

また、会場内では、障害者の就労を応援するということで、一宮市の障害者授産施設で作られた品物が展示、販売されました。

最後になりましたが、開催にあたり多くの支援をしていただいた一宮市、一宮市社会福祉協議会の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

街頭キャンペーンにご理解を ～障害者週間～

昨年度から「愛身連機能強化等に向けた行動計画」に基づき、障害者週間に合わせた街頭キャンペーンを愛知県内各所で実施しました。

県内の各市町村身障会が福祉センターや施設（憩いの場）、スーパー、イベント会場、駅前等でのぼり旗を立て、多くの方に啓発用ポケットティッシュを配布し、広報活動を行いました。

障害者週間とは、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」（12月9日）に代わるものとして設定されました。

「障害者週間」の期間は、毎年12月3日から12月9日までの1週間です。

そして、今年も広報啓発に向けて街頭キャンペーンを行いますので、会員皆様のご協力をお願いします。

※市町村によっては、障害者週間前後にキャンペーンを実施するところがあります。

城西福祉会にて 第9回身体障害者安全運転競技大会開催

5月28日（日）、一般財団法人　城西福祉会において「第9回身体障害者安全運転競技大会」が開催されました。

10時からの開会式では、柴田理事長から「皆さんが免許証を取った頃より、法律が変わっていると思いますので、この場で勉強してもらいたいと思います。また、楽しみながら安全運転をしてもらいたいとの思いで大会を開いております。これからも続けていくつもりですので、多くの方に参加してもらいたいと思います。」と挨拶をされました。

その後、50問の交通知識の設問に○×で答える学科テストを行いました。

休憩の後、北警察署の交通課長から「高齢になると、耳が聞こえにくい、視野が狭くなるなど、車の接近に気がつきにくくなり、事故に遭いやすくなります。運転手の方は、交差点や狭い道路から広い道路に出る時、夜間の運転などに気をつけて運転をしていただきたいです。」とのお話しがありました。

午後は実技のテストを行いました。ポイントは、技術面と安全運転が出来るかです。参加者の皆さんは8の字走行、軌跡板を決まったタイヤで踏むというコースに苦戦されていました。

一度、大会に参加された方は「次回もぜひ出たい」というお話しをされます。交通安全を再度確認するために、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。

第10回大会は10月22日（日）に行われます。